

は し が き

この実践研究集録は、本年度における「理科定期研修」の研究成果をまとめたものであります。

「理科定期研修」は、当教育センターが実施している研修事業の一環であり、研修員と所員が一体となって行う共同研究の形をとっております。すなわち、この研修は、小・中学校における「理科教育の実践的課題」を主題として、いくつかのチームを組み、当教育センターの研究を基にしながら、授業研究を通して究明しようとする立場をとっております。これらの研究を通して、指導内容に検討を加え、教材の本質を明らかにすると同時に、理科指導改善の方途を探ろうとするものであります。

共同研究としての「理科定期研修」を始めてから早くも10年も経過しますが、本年もまた多数の応募者から選ばれた小・中15名の研修員を迎えて実施いたしました。

研究を進めるにあたっては、これまでの研究成果をふまえて、それぞれの内容を検討するとともに、児童の実態把握に意を用いました。その上に立って、実践上の問題点を洗い出し、問題の解決のための実践を重ねました。

また、この研究の実施中に、新しく学習指導要領が発表されました。その内容をも検討して、できるだけ実践の中へ生かすことも配慮いたしました。したがって、ここに収められた小学校関係3編の論文はいずれも、これからの理科の授業や教材研究に直接役立つものと存じます。

なお、これらの研究は紙面のつごうで、その意とするところをじゅうぶん尽くし得ないものも多く、また、内容については至らない点多々あることと思います。卒直なご批判とご指導をいただければ幸いです。

おわりに、多忙な校務のなか、この研修に参加し、終始熱心に研さんされた研修員の方々の努力と熱意に対して深く敬意を表します。さらに、研修員所員校の校長先生はじめ諸先生からいただいた御支援と御協力に対し、心から御礼申し上げます。

昭和53年1月20日

新潟県立教育センター所長 田 辺 啓 三